



日 鶏 協 ニ ュ ース

2025 年 6 月号
一般社団法人日本養鶏協会

INDEX

・（一社）日本養鶏協会「第76回定時総会」開催のお知らせ	1
・鳥インフルエンザ・シンポジウムの開催について	2
・第9期（令和7年度）家畜防疫互助事業にご参加を！	3
・たまごの魅力を楽しく発信！ 全国菓子大博覧会で地元と連携した特別ブースを出展	4
・日本獣医師会・鶏病研究会からの 「第4回養鶏管理獣医師研修会開催」に関するお知らせ	5
・統計データ	6
・協会活動報告	7

（一社）日本養鶏協会「第76回定時総会」開催のお知らせ

令和7年5月29日に開催された第2回理事会において、下記「第76回定時総会」を招集することが決定しましたのでお知らせいたします。

ご多用中誠に恐縮ではございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご出席いただけない場合には、委任状を6月19日（木）までに同封の返信封筒にてご送付頂くようお願いいたします。

記

1. 日 時： 令和7年6月27日（金） 13:00～
2. 場 所： [大手町サンケイプラザ](#) 3F
東京都千代田区大手町1-7-2
Tel：03-3273-2230
3. 議 案： （決議事項）
第1号議案 令和6年度計算書類等に関する件
（公益目的支出計画実施報告も含む）
第2号議案 令和7年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
第3号議案 理事23名・監事3名の選任に関する件

（報告事項）
（1） 令和6年度事業報告
（2） 令和7年度事業計画及び収支予算



鳥インフルエンザ・シンポジウムの開催について

鳥インフルエンザに関するシンポジウム が開催されます。

満員御礼！ 多数の参加申込みありがとうございました。
なお、開催結果概要は日鶏協ニュースに掲載する予定です。

令和 7 年 6 月 13 日 金曜日 14:00-17:00
東京大学安田講堂

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学構内

講演次第（敬称略）

総合司会 小谷あゆみ

13:00 開 場

14:00 開会挨拶

一般社団法人日本養鶏協会会長 米山大介
東京大学大学院農学生命科学研究科教授 芳賀猛

来賓挨拶

農林水産省消費・安全局家畜防疫対策室長 大倉達洋
在日イタリア大使館参事官 ジアンルイジ・セリアンニ

講 演

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 堀本泰介
「鳥インフルエンザを理解する」

講 演

ジョンズ・ホプキンス大学SAISヨーロッパ校上級研究員
イラリア・カプア
「Circular Health and its connections to Avian Influenza」

17:00 閉会挨拶

東京大学大学院農学生命科学研究科長・農学部長
東原和成

【主催】（一社）日本養鶏協会

【共催】東京大学大学院農学生命科学研究科

【後援】（公社）中央畜産会、（独）農畜産業振興機構、
（一社）全国鶏卵養鶏団体連合会、（一社）全日本畜産経営者協会、
（一社）日本種鶏孵卵協会、（一社）日本食鳥協会、
（一社）日本卵業協会、全国養鶏経営者会議、
日本養鶏農業協同組合連合会（順不同）





第 9 期（令和 7 年度）家畜防疫互助事業にご参加を！

5 月 29 日に、第 9 期（令和 7 年度）家畜防疫互助基金支援事業（以下互助事業）のご案内を、第 9 期（令和 6 年度）にご参加の皆様と第 8 期加入されていて第 9 期末参加の皆様にお送りさせていただきました。

互助事業は、鳥インフルエンザが万一発生した場合に安心して経営を維持・継続ができるように、生産者が自ら積み立てを行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに、国が補助する制度です。

鳥インフルエンザは、令和 4 年度、令和 6 年度の大量発生、また 5 年連続の発生となり、「恒常化」のおそれもみられるところです。次シーズンも大発生の可能性は捨てきれず、世界的な脅威となっています。

皆様におかれましては、引き続き防疫に努めていただきますとともに、万が一に備え、是非、互助事業にご参加いただけますようお願い申し上げます。

生産者積立金の単価

鶏 (家族型)	採卵鶏（成鶏）	1 羽当たり	6 円
	採卵鶏（育成鶏）	1 羽当たり	3 円
鶏 (企業型)	採卵鶏（成鶏）	1 羽当たり	8 円
	採卵鶏（育成鶏）	1 羽当たり	4 円

交付上限単価

鶏 (家族型)	採卵鶏（成鶏）	1 羽当たり	790 円
	採卵鶏（育成鶏）	1 羽当たり	370 円
鶏 (企業型)	採卵鶏（成鶏）	1 羽当たり	970 円
	採卵鶏（育成鶏）	1 羽当たり	450 円

【お問い合わせ】

業務第1部

Tel : 03-3297-5515

たまごの魅力を楽しく発信！ 全国菓子大博覧会で地元と連携した特別ブースを出展

国内最大級の菓子の祭典「第 28 回全国菓子大博覧会・北海道（通称：旭川菓子博 2025）」が、8 年ぶりに開催されました。鶏卵業界で構成する「たまご知識普及会議」（事務局：日本養鶏協会）は、地元のホクレンとの連携のもと、鶏卵の魅力を発信するブースを出展し、多くの来場者にたまごの美味しさと機能性をアピールしました。



会場となった旭川大雪アリーナには、全国から約 1000 点にのぼる菓子が集結。連日、大勢の来場者でにぎわう中、当会のブースでは、たまごの栄養価や機能性に関するパネル解説を行い、来場者の関心を集めました。



中でも注目を集めたのは、地元・旭川農業高校の生徒たちが半年以上かけて開発した手作りプリン。2 年生が米粉を使ったふんわりスフレを重ねた二層仕立てのプリン、3 年生は甘みの強い地元産サツマイモを使ったプリンをそれぞれ開発。使用された卵もちろん地元産で、道内の農業とたまごの魅力が詰まった逸品です。

販売は 5 月 31 日と 6 月 1 日の 2 日間限定で実施され、用意された 200 個のプリンは、どちらの日もわずか 2 時間で完売する盛況ぶり。ブースには「高校生が頑張っている姿に応援したくなった」「素材にこだわった特別感が嬉しい」といった声が多く寄せられました。

また、ブース内では、たまごに関するクイズやクロスワードパズルなど、子どもから大人まで楽しめる体験型の企画も用意。来場者が自然と「たまご」に触れ、学び親しみを感じる仕掛けが好評を博しました。

今回の出展を通じて、たまごが持つ栄養や多彩な活用法、そして地域農業とのつながりを多くの方に知っていただく貴重な機会となりました。今後もこうした場を通じて、たまごの価値と消費拡大に向けた取り組みを地域と連携しながら進めてまいります。



【お問い合わせ】

業務第2部

Tel : 03-3297-5515



日本獣医師会・鶏病研究会からの 「第4回養鶏管理獣医師研修会開催」に関するお知らせ

この度、農林水産省が実施する令和7年度「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」のうちの日本獣医師会が事業実施主体となる「管理獣医師の実践的な技術・知識を修得するための講習会」について、鶏病研究会が協力して技術研修会を開催します。

日 時：2025年7月24日（木）13:30-17:00

場 所：AP 新橋 3 階 A 室 <https://goo.gl/maps/tvkN6SMDTNqo6JtbA>

東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 03-3571-4109

対 象：獣医師および養鶏経営者ほか関係者 先着240名

参加費：無料

申込方法：下記リンク先または右記QRコードからお願いいたします

<https://forms.gle/WZxMUKfzbRcq65XH9>

申込締切：7月14日（月）まで ※定員になり次第受付終了します



講習会内容：

- 1 開会 （司会） 森腰 俊亨（鶏病研究会）
- 2 挨拶 磯部 尚（鶏病研究会）
- 3 講演
 - （1）臨床症状からみた家禽の疾病診断 13：40-14：40
株式会社十文字チキンカンパニー 岡本 花子
 - （2）養鶏現場での薬剤耐性問題への取組 14：40-15：40
株式会社ウェルファムフーズ 橋本信一郎
 - （3）養鶏関連施設における消毒の実際 15：40-16：40
公益社団法人畜産技術協会 竹原 一明
- 4 総合討論 （座長 磯部 尚）
- 5 閉会 （司会 森腰 俊亨）

* 終了後、情報交換会を予定しております。（詳しくは下記までご連絡ください。）。

<お問い合わせ先>

鶏病研究会事務局 靱山香織

305-0856茨城県つくば市観音台1-21-7

サンビレッジ川村C-101

TEL&FAX 029-836-8533

E-mail keibyokenkyukai@keibyo.jp

*** なお、鶏病研究会では会員を募集しております。**
(詳しくは上記までご連絡ください。)



統計データ



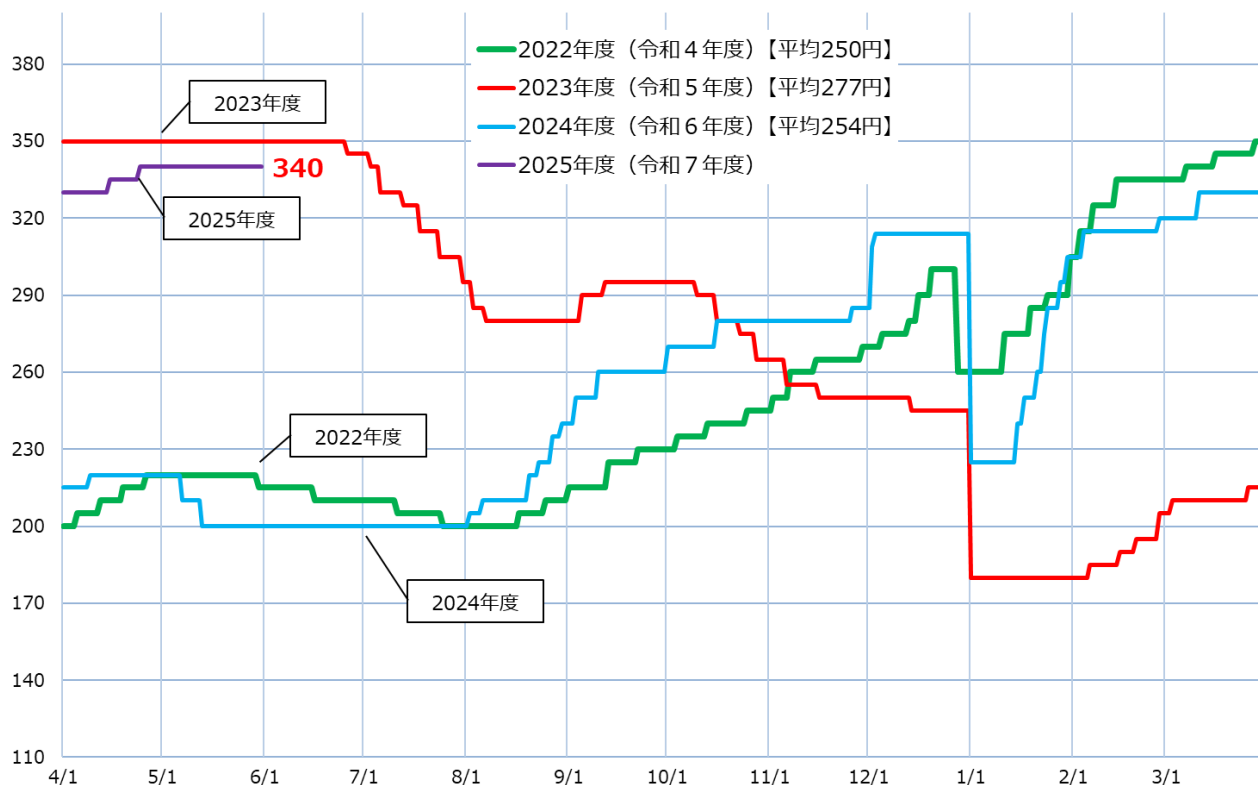
鶏卵相場動向 — 過去 10 年間の 5 月相場 東京全農Mサイズ 円/ kg

	平均値	高値	安値
平成28年	204	233	194
平成29年	216	250	191
平成30年	165	188	159
令和元年	173	203	159
令和2年	168	200	159
令和3年	258	280	244
令和4年	219	240	209
令和5年	350	374	344
令和6年	204	244	194
令和7年	340	365	334
平均値	230	258	219

令和 7 年 5 月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値 365 円は、過去 10 年の平均値 258 円を 107 円上回り、安値 334 円は、過去 10 年の平均値 219 円を 115 円上回っています。



鶏卵相場推移 2022 年度～2025 年度 東京全農Mサイズ 円/ kg



鶏卵相場は 4 月末から価格の変動はなく、5 月末でも 340 円のままととなりました。



鶏卵関係主要計数 ― 令和 7 年 3 月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千トン)	前年比★	数量(g)	前年比	前年(円/kg)	本年(円/kg)
6年 4月	8,283	95.0%	478	108.2%	876	103.6%	350	219
5月	8,046	86.1%	477	102.2%	937	112.5%	350	204
6月	8,057	83.6%	439	97.9%	906	110.8%	349	200
7月	8,539	91.6%	450	105.4%	837	102.9%	320	200
8月	7,789	89.6%	434	99.2%	864	100.5%	282	217
9月	7,346	91.2%	426	98.9%	885	104.2%	292	256
10月	8,473	96.3%	484	105.0%	902	101.2%	283	275
11月	7,429	85.7%	471	99.9%	887	101.2%	254	281
12月	8,931	93.2%	510	100.4%	970	102.1%	247	290
7年 1月	8,099	107.3%	460	100.1%	897	99.9%	180	258
2月	8,402	110.1%	432	94.5%	860	96.6%	190	315
3月	8,856	106.4%	468	99.9%	932	100.4%	211	327
1年間合計 平均(%)	98,250	94.7%	5,529	101.0%	10,753	103.0%	276(平均)	254(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,856 千羽（前年比 106.4%）と前年比 6.4%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、468 千トン（前年比 99.9%）と前年比 0.1%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、932 グラム（前年比 100.4%）と前年比 0.4%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の 116 円高を示しました。
- ・配合飼料出荷量 前年比★は、生産量の前年比となります。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業参加者の

契約数量（単位：t）

令和 4 年度	1,794,699
令和 5 年度	1,731,712
令和 6 年度	1,824,242
令和 7 年度	1,784,201

② 標準取引価格

令和 7 年 5 月 332.57 円/kg

③ 令和 7 年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 230 円/kg

安定基準価格 207 円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 16 号 馬事畜産会館内（5 階）

Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2025 年 6 月 4 日

編集・発行責任者：石井 馨 (info@jpa.or.jp)